

提案名	体感型モデルハウス「時を愉しむ家」提案	部 門	情報提供及び普及
提案者	大和ハウス工業株式会社		
概 要	展示場住宅を半年ごとに改修し、時間経過に対応した住宅のあり方を提示する提案。		

■概 評

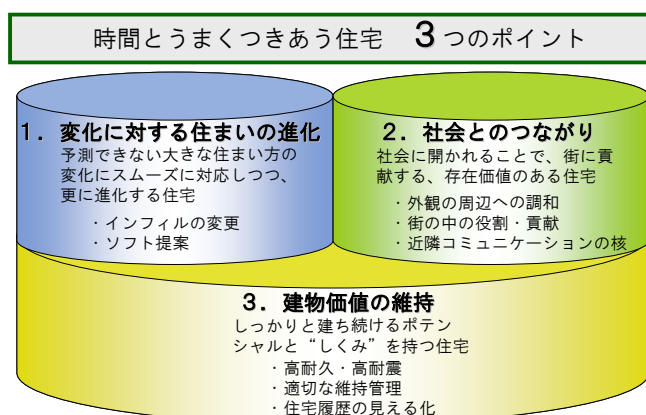
住まい手の参加意欲を誘発する維持管理システムの公開の実施も含め、長期対応の住宅の展示に資するものとして評価した。

■提案の基本的考え方

1. コンセプト「時間とうまくつきあっていく住宅」

「時間とうまくつきあう」とは、予想しきれない将来の大きな変化に対し柔軟に対応してだけでなく、その変化を積極的に受け止め、前よりも豊かな暮らしを目指すこと。その都度住宅は進化し、新たな価値を持つ。

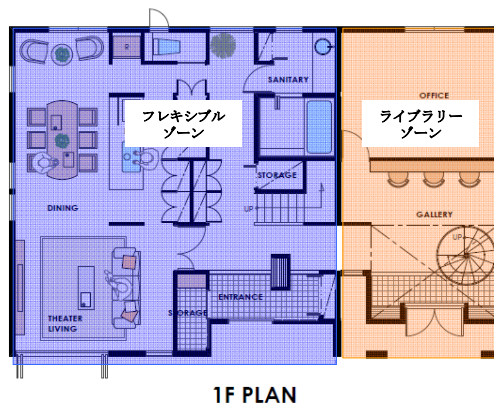
時間とうまくつきあう住宅のポイントは以下の3点である。



■提案内容

(1) 居住スペースと展示スペースの分離公開

実際に改修を行う現実的な広さの居住スペース「フレキシブルゾーン」と、展示や説明などに使う「ライブラリーゾーン」の2つのゾーンで構成され、改修工事中も安全なイベント開催や見学が可能である。



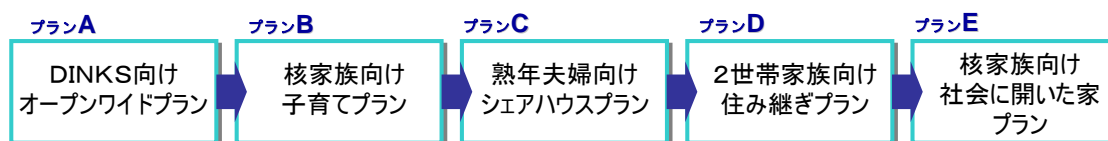
(2) 変化に対する進化の実感

実際の改修を繰り返し行うことにより、時間とうまくつきあい、大きな**変化**に対して**進化**していく住宅の生の姿を公開し、住宅の進化を実感できるモデルハウスである。

(3) ドラスティックな住まい方提案

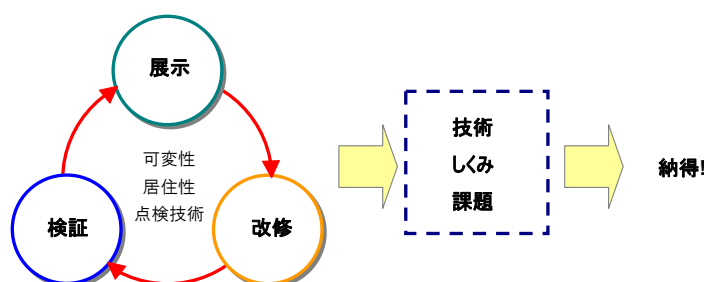
展示用住宅の特性を活かし、これからの住まいと暮らしのドラスティックな変化を提示する。

(下図) 暮らしの変化例 (プランは来場者のアンケートで変化する)



(4) 維持管理システムの公開

改修、メンテナンスに際し、「可変性」「居住性」「点検技術」に関するさまざまな検証を行い、その過程や結果についてライブラリーにて展示公開することで、**超長期にわたる維持管理のための技術やしくみの有効性**や今後の課題を浮き彫りにし、お客様の納得度向上を図る。



維持管理の技術 (例)

- ・パーティションフリー工法 (間仕切り壁、内装材の更新等) ⇒ 実際の改修工事における記録を公開
- ・住宅履歴システム (WEBを使った住宅の各種情報、セルフメンテナンス情報等) ⇒ 常時展示・説明
- ・床下点検ロボット・制震パネルメンテナンス ⇒ イベント時に実演・説明



床下点検ロボット



制震パネル

■ 提案者からのコメント

住宅展示場での提案採択は非常に狭き門という認識だったが、当社の考え方に先導性を認めてもらえ、光栄であると同時に責任を感じている。

従来の展示場との大きな違いは2点。ひとつは、長期間建物が存在することによって、建物に生じる変化を「**時間を圧縮し実際に変化させる**」ことで、よりわかりやすく超長期の住宅のありかたを訴求することが可能になること。もうひとつは、超長期住宅を普及するためには、**住まい手の「長く大切に使う」意識の向上**が不可欠であることを啓蒙する場として活用することである。

当展示場においては、上記の点を来場者に対ししっかり訴求できるよう、セルフメンテナンスのイベントや将来を見据えた設計提案などの積極的なアプローチをしていきたいと考えている。